

11月8日(月)～12日(金) 午前9時～午後5時 (最終日は午後4時まで)

過半数代表者選出の信任投票日です。

本荘・大江事業場 棚瀬 純男氏、

附属病院事業場 芦村 浩一氏を信任してください。

熊本大学で働く労働者の過半数代表者の選出選挙が行われています。過半数代表者は、就業規則の変更に関して意見を述べ、36協定に代表される労使協定の締結、労働安全衛生法に基づく委員の推薦などの権限等が与えられ、私たちの労働条件を決定する重要な役割を果たしま

す。つまり、私たちの労働条件に直接関わる重要な仕事を受け持つ事になります。組合は、職場環境・労働条件の改善を目指し、過半数代表者を応援・協力していきます。組合推薦の候補者お二人からのひとことを紹介します。

本荘・大江事業場 棚瀬 純男 生命科学部 教授

今回、熊本大学教職員組合の推薦を受け、本荘・大江事業場「労働者の過半数代表者」に立候補することになりました生命科学部（保健学系）の棚瀬純男です。

近年の大学としての大きな変革は、法人化とそれに続く組織改編でした。また運営交付金の削減に教職員の人員削減が続き、今後も大学運営の基盤を揺るがすような改変が行われる可能性があります。また経済状況の低迷とあいまって、給与引き下げの人事院勧告もされようとしています。

社会を支えるのは人であり、そのような人を育てるのも人であることを忘れないとすれば、教職員の労働環境の改善と向上は社会基盤整備の一環であり欠かせないものと考えられます。働きやすい職場を整えることは、そのまま教育や研究環境の向上とその成果につながると思われま。全事業場の代表者と協力しつつ、本事業場の過半数代表者として労働環境の改善を目指して努力したいと考えています。

附属病院事業場 芦村 浩一 ME 機器センター 臨床検査技師

2010年度医学部支部執行委員、前熊本大学教職員組合副委員長

この度、熊本大学教職員組合の推薦を受け附属病院事業場より過半数代表者に立候補することになりました芦村です。過半数代表者への立候補は今回で7度目となります。

今回も、熊本大学で働く職員が誇りも持って働けるよう、他の事業場の過半数代表者と連携を図りながら、少しでもお役に立てればと思っております。

最後になりましたが、附属病院事業場の教職員の皆さまの過半数の信任を得られれば、使用者側の対応もおのずと変わってくると伺っておりますと共に、私自身も心強く思えます。そこでお忙しいとは存じますが、一人でも多くの皆様が投票に出向かれますようお願い申し上げます。

熊本大学と雇用関係を結んでいる職員一正規職員、特定有期雇用職員、有期雇用職員(フルタイム・パート職員)、再雇用職員一は全て有権者です。

(学長・理事・監事・非常勤講師・TA・RA・下請け・派遣の方は除きます。)

赤煉瓦

熊本大学教職員組合

No.17
2010.11.8

内線:3529 FAX:346-1247
ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp
http://union.kumamoto-u.ac.jp/

